

兵庫県教育委員会（所在地：兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号）

事業名

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

事業の趣旨・目的

関係機関（当事者、大学、特別支援学校、社会福祉法人、民間企業、障害者の生涯学習の機会を提供する団体等）が連携コンソーシアムを開催することにより、障害者の生涯学習を支える持続的・総合的なネットワークの構築をめざす。

事業実施体制・連携先

当事者、県内大学、県ユニバーサル推進課、学校関係者、公民館関係者、障害福祉サービス等事業所、当事者保護者等を構成員とする「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムを設置する。継続した協議を行うため、個人ではなく、組織や団体を構成員とし、事務局を県教育委員会に置く。

事業内容

- 「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムの開催
各関係機関・団体等が、これまで蓄積した取組をもとにそれぞれの強みを生かし、ノウハウを共有することで障害者の学びの場の充実を図る
- 調査・実践研究
 - ・ミュージアム等の社会教育施設における活動を当事者の視点から見つめなおし、改善を加えることで施設の利用促進を図る「ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト」の実施
 - ・高等教育機関における知的障害者の学びの機会を創出するため、「神戸大学学ぶ楽しみ発見プログラム（KUPI）」を実施。知的障害者の学びの場における「特別の課程」制度により、修了者に履修証明書を授与
 - ・学校卒業後の障害者に幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得する機会を提供する学習プログラムの開発や実施体制について研究するため、身体障害者社会学級を開設
青い鳥学級（視覚障害者）、くすの木学級（聴覚障害者・言語障害者）
たけのこ学級（筋ジストロフィー症：兵庫中央病院入院患者）

- ・県内における「学びの場」についての調査の継続
障害者を対象とした生涯学習を支援している団体や場所などの情報を「学びの場」として集約し、当事者をはじめ関係者に周知
- ・特別支援学校校長会、県特別支援教育課と連携し、特別支援学校において職員を対象にした研修や授業を通して、「学び場検索アプリ」の周知や生涯学習について考える機会を創出
- 人材の発掘と育成
障害者の生涯学習を支援する人材を発掘し育成するため、支援経験に応じた内容の研修会を実施
- 普及・啓発
 - ・ブロック別「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」を実施し、障害者の学びの場づくりに関する好事例の共有を図るとともに、関係者間のネットワークを構築
 - ・障害者の生涯学習を支援する際に参考になる情報を発信するため、リーフレットを発行

事業終了後の目指す方向性

- 「誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会」
- ・社会教育施設において、障害者の意見をもとに改善が加えられ、施設の利用促進が図られる。
 - ・学校卒業後の学びの場に関する情報を提供することで、学びへの意欲が向上する。

その他



学びの検索アプリ
利用者が自らのニーズに応じて活動の場を検索するためのアプリを開発
障害種別にかかわらず情報をより分かりやすく伝えるため、字幕付き活動紹介動画を配信



令和6年度リーフレット
障害者の生涯学習を支援する際に参考になる情報を発信